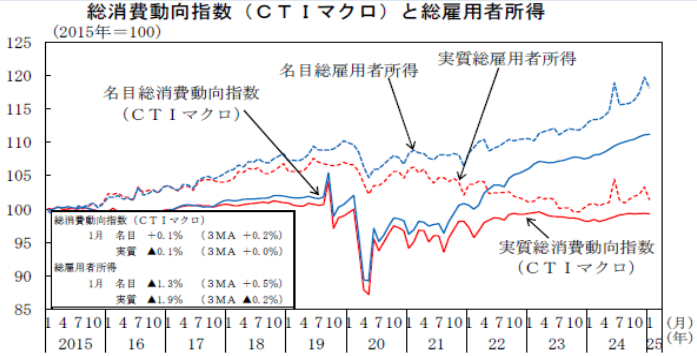
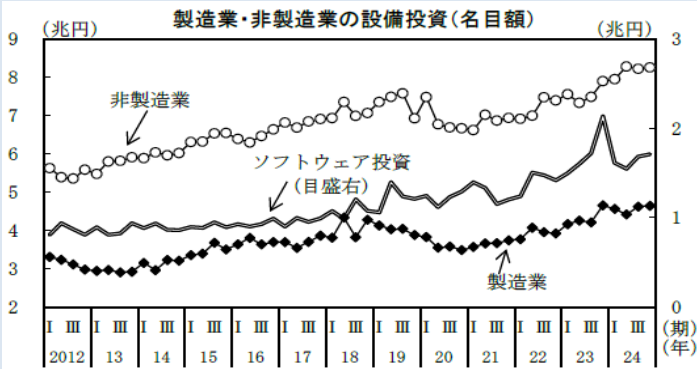
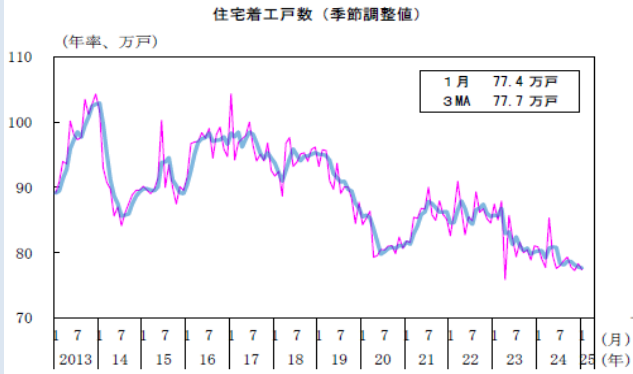
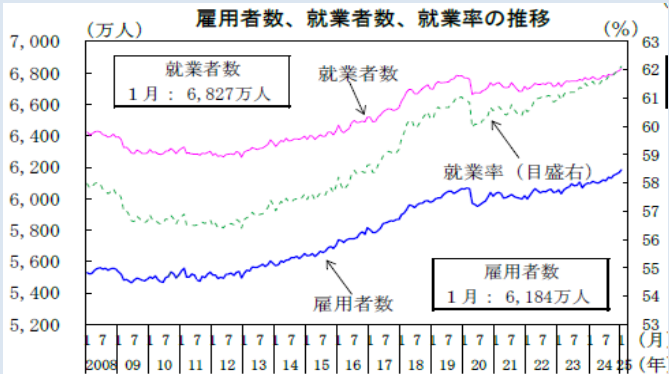
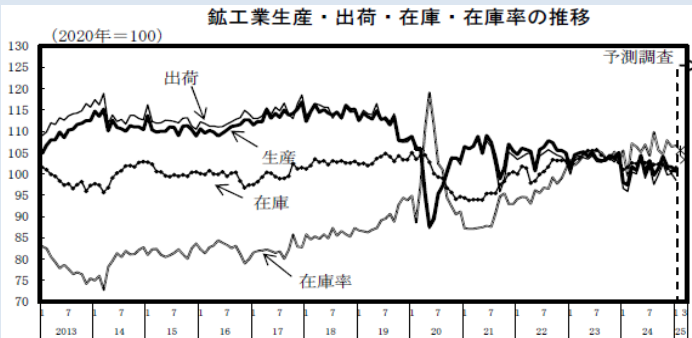
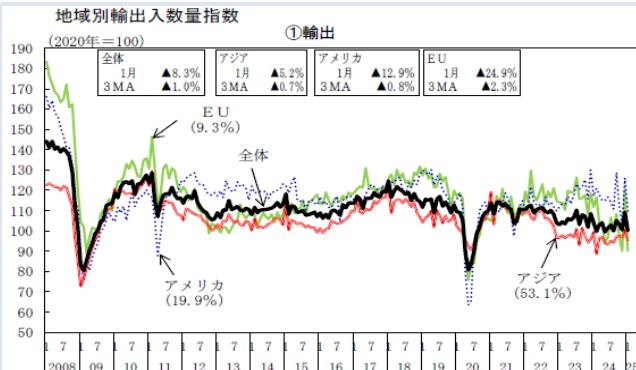
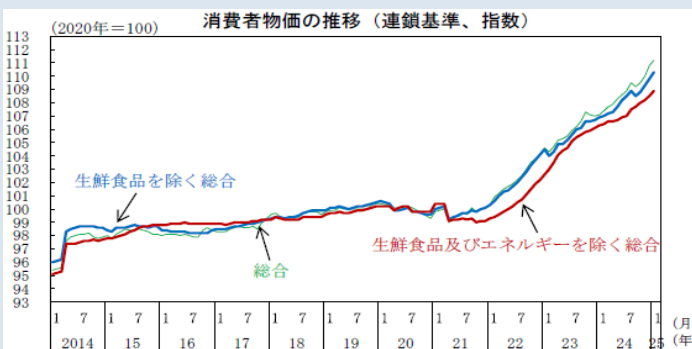


● 月例経済報告（3/19）

基調判断	(3月) 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。	
	(2月) 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。	
個人消費	(3月) 一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる。	
	(2月) 一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる。	
設備投資	(3月) 持ち直しの動きがみられる。	
	(2月) 持ち直しの動きがみられる。	
住宅建設	(3月) おおむね横ばいとなっている。	
	(2月) おおむね横ばいとなっている。	
雇用情勢	(3月) 改善の動きがみられる。	
	(2月) 改善の動きがみられる。	

生産	(3月) 横ばいとなっている。	
	(2月) 横ばいとなっている。	
輸出	(3月) このところ持ち直しの動きがみられる	
	(2月) このところ持ち直しの動きがみられる	
国内企業物価	(3月) 緩やかに上昇している。	
	(2月) 緩やかに上昇している。	
消費者物価	(3月) 上昇している	
	(2月) 上昇している	
海外経済	(3月) アメリカでは、景気は拡大している。 先行きについては、マインド悪化に伴う影響から、その勢いが緩やかになる可能性がある。また、高い金利水準の継続に伴う影響による下振れリスク、通商政策など政策動向による影響に留意する必要がある。	(2月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響による下振れリスク、通商政策などアメリカの政策動向による影響に留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。
	(2月) 世界は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している。	

月例経済報告：内閣府